

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	地域のニーズに応じた特色ある教育活動を実践するとともに、地域活性化に向けた交流活動を実践する。また、特色ある地域貢献活動等を積極的に情報発信することで、生徒の自己有用感の向上を図り、多くの生徒が主体的に活動に取り組むことができるよう働きかける。					
		②自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は85%以上である。						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業がわかりやすい」と、生徒の85%以上が答えている。	基礎的な知識や技術の習得に向け、生徒や学級の実態に応じたきめ細やかな指導や支援を実践する。また、職員間で生徒情報を共有し、個々の生徒が理解でき、主体的な学習活動となるよう授業改善に取り組む。					
		④資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。	基礎学力向上のための資格取得指導を充実させるとともに、資格取得の有用性を理解できるように、家庭と連携したきめ細やかな指導に取り組む。また、ICTを活用した学習で「朝学習の時間」を充実させ、様々な資格や検定の合格率向上を目指す。					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。	教材研究や自己研鑽を通して教材に対する理解を深め、生徒が興味や関心を高め、生徒が自ら考え、課題を解決することができるように指導と評価を工夫する。授業では、発表する機会を設け、課題解決能力とプレゼンテーション能力の向上を図ると同時に、学習成果を実感できるよう振り返りや自己評価を実践する。					
⑥自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が各学年70%以上である。	生徒自身が、学習に対する明確な目標を設定し、達成のための取り組みを考え、主体的な学習や振り返りを実践できるよう、LHRや授業において働きかけを行う。また、知識や技術が身に付いたと実感できるよう、課題や評価を工夫し、家庭学習の習慣化やICTの効果的な利活用などを図る。							
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦組織的な指導のため、生徒の情報交換を月に3回以上行っている。	問題行動やいじめの未然防止に向け、朝の校門指導や昼休みの巡回指導を継続して行い、生徒理解に努めるとともに、職員会議や学年会での定期的な情報交換を実施し、生徒の変化や相談事に迅速かつ組織的に対応する。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	⑧いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止活動に主体的に取り組む生徒が90%以上である。	学校行事や学年集会などを利用し、継続的にいじめの定義や重大性などを生徒や保護者に周知し、いじめ防止の意識を高める。また、いじめ防止標語づくりや生徒目標の立案などを通して、生徒一人ひとりが主体的にいじめ防止活動に参画していると実感できる取組や生徒及び保護者が相談や報告がしやすい環境となるよう指導や支援を工夫する。					
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨心身に悩みや不安を抱えている生徒が、スクールカウンセラーの利用により悩みや不安が改善された、軽減されたと評価する生徒が80%以上である。	生徒観察と積極的な情報共有を通して、個別な支援が必要な生徒や保護者に対して速やかにスクールカウンセラーの利用を働きかける。また、生徒及び保護者が安心安全な学校生活を送ることができるよう、教職員、家庭、関係機関が連携した雰囲気づくりや原因究明に努めるとともに、きめ細やかな指導や支援を実践する。					
		⑩毎日朝食を摂ることや睡眠時間の確保など、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	「ごころの天気」や「生活アンケート」、面談を通して、生徒の心身の健康状態の実態把握を行うとともに、授業や講演会などで健康について意識を高める。また、規則正しい生活習慣の確保や適切なスマートフォン等の利活用が身に付けられるよう警察や関係機関などと連携した指導を実践する。					
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑪進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	進路実現に向けた生徒及び保護者のニーズを把握するとともに、進路ガイダンス、進路講演会、企業見学、インターンシップなどを通して、生徒及び保護者が求める情報や体験の場を提供し、希望する進路実現できるよう指導を充実させる。					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑫自己の適性を理解し将来の職業との関連について考えている生徒が80%以上である。	適性検査や基礎力診断テストなどの検査結果や評価を的確にフィードバックすることにより、生徒が自己理解し、自己の適正に応じた進路選択ができるための指導を実践する。					
		⑬挨拶やコミュニケーション等を進んで行い、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。	富岡市や関係機関と連携したキャリア教育の実践や進路対策講座などを積極的に活用し、挨拶やコミュニケーション能力を身に付け、地域から信頼される人材の育成に取り組む。また、生徒の主体的な進路選択、進路実現に向けた学習を実践できるよう情報や教材を提供する。					
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が80%以上である。	保護者に対して、本校の特色ある教育活動を情報発信するとともに、地域での販売会や各種交流行事の充実と参加者の増加に向けて企画する。					
		⑮授業公開、学校からのメールや配布物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の80%以上が学校の様子を理解できている。	保護者が、学校や生徒の活動に関心を高め、より理解しやすくなるようホームページの改善、TOPICSやお知らせの速やかな掲載を行う。また、連絡メールを有効に活用し、適切に情報提供できるよう工夫する。					
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ICTを活用した授業に、生徒の80%以上が満足している。	効果的なICTの利活用により、生徒が知識や技術の習得が実感できるよう指導と評価を充実させるとともに、最新のソフトウェアや機能に対応して、より効果的な授業展開できるよう職員研修会や授業改善し、アンケートの実施により、実態を把握する。					
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ICTを活用した通知やアンケート調査に、保護者の80%以上が満足している。					